

有機健康 つうしん

800人の前で事例発表!
ITCカンファレンスで講演

八月二十七日 東京プリンスホテ
ル鳳凰の間において、「ITCカン
ファレンス2010」が行われ、講
師として参加致しました。

「ITCカンファレンス」は、IT
コーディネータ協会が、毎年全国か
らITコーディネータを集めて行つ
てある研修会です。総勢約800人
が参加します。



中央に小さく見えるのは高岡。発表中は
こんな感じに見えています。丁度眠くな
る15時からの発表でしたが、皆さん真剣
に聞いていただきました。



会場には巨大モニターが設置され、後ろの
席でも見える様になっています。シートを動か
しているのは渡部。ひな壇の下で控えています。
人の大きさと比べると巨大でしょ。

当日の発表順は、なんと「IT経
営大賞」大賞企業の後。さらに緊
張がアップします。舞台袖で発表を
聞かせていただきたのですが、さす
がだなあと感心するばかり。私もも
う賞をいたいたと安心せず、更に取
り組みを深くしていかなければいけ
ないなど感じました。

皆様にどうしたら分かっていたた
けるのだろう?当日までに、社内で
一回、地元の支援機関で二回リハ
ーサルを行いました。「もう少し見や
すくして」「写真も使って様子を伝
えていき、最後の修正が終わつたの
だ」と、皆様のご意見をいただ
きました。

本年度、弊社は「IT経営力大賞」
全国商工会連合会長賞を受賞しま
した。その取り組み内容を含め、「IT
・インターネットの活用は中小企
業の生き残り策だ」と題して、高岡
と営業企画部の渡部が発表させてい
ただきました。



会場では、もちろん青汁サンプル
を配布。講演後は一気に無くなっ
てしまいました。

※ITコーディネータとは?
IT・インターネットの活用は中小企
業の生き残り策だ」と題して、高岡
と営業企画部の渡部が発表させてい
ただきました。

組みですね」等のお声を聞く事がで
きホッとした。人生で一番多くの
人の前でお話しました。さすがにド
キドキしましたが、これからも機会
をいただければ挑戦したいです。

いよいよ発表スタート。高岡の持
ち時間は十分、渡部がシステム等の
説明として残り三十分を担当しまし
た。準備と練習が十分に出来ていた
ので、予定時間をお一バーする事な
く無事に終了できました。

講演終了後、レセプションの場で、

「わかりやすかつた」「面白い取り

ました。

は開始一時間前。緊張は更に高まり

ました。

「健康でないと、幸せに生きられない!」
遠赤青汁創業の想いを熱く語る高岡



がんばる女子高生!②



東温石けんを販売体験



高校生には夏場に青々とした緑色の葉を収穫
てもいい、遠赤青汁で粉末状に加工します。石け
んの試作を続けながら、色や配合、香りなどを確
認しました。

実習も半年が過ぎ、ようやく製品が出来ました。
や卒業生にも親しまれています。今回、「東温高
校らしさ」を考案する時に「くぬぎは外せない」と
して、くぬぎの葉を使った石けん作りが企画され
ました。

**遠赤青汁はキャリア教育民間
コーディネーター事業に
参加しています。**

自分たちの考えた商品が出来た!
出来あがった「東温石けん」は、高校の文化祭で
販売されました。今後も「東温石けん」の販売方
法を実習していくそうです。頑張って!

東温高校商業科三年生による「ビ
ジネス実習」において、企業と
のコーディネートを行つたのは、
「キャリア教育民間コーディネ
ーター」と呼ばれる学校と企業
との橋渡し役。

平成二十年度から経済産業省
の委託を受けて始めた事業で、
子供たちの勤労観や職業観を育
成する「キャリア教育」の実践
を支援しています。

遠赤青汁では、こうした地元の
地域事業に参加しながら、企業
の在り方を提案しています。

キャリア教育コーディネーター始動

→東温高校のキャリア教育を担当。オリジナル商品を開発。



事業としての独立が課題

「一ヶ月で「キャリア教育コーディネーター」の開
発に着手して、今月で商品化が実現。この間、企
業の担当者の方々と連携して、商品開発や販売方
法について話し合いながら、実際の販売活動を進
めてきました。今後も「東温石けん」の販売方
法を実習していく予定です。頑張って!

農地再生に



「農地再生に挑む」では、放置された農場を再生し、有機園場として生まれ変わった様子をシリーズとしてお伝えしています。



有機園場には、認定を受けた証明の看板が設置されています。昨年はにんにくを植えていましたが、今年はケールを植えました。



マルチ一本に開けられた穴は約400個。園場全体でマルチは何本になっているのかな？う～ん、すごい数です。



植えて2週間ほどのケール。この葉っぱがどんどん大きくなって、手のひら4枚並べた以上になります。成長ってすばらしいです。



ケールを植えた後は、にんにくの種植えです。マルチを張るために、トラクターで畝を立てる作業が続けます。(うね)

ケールの苗は、八月からハウスの中でも育ち、九月に入ると圃場へと植えられます。十年くらい前は十月頃になるとかなり肌寒くて、虫も少なくなっていたのです。が、温暖化のためか年々暑さが続き、十月中旬でもモンシロチョウが飛んでいる様な気候です。モンシロチョウが飛ぶと言うことは、青虫が発生していると言ふことだ。虫に食べられては青汁の原料に使う量が確保できません。栽培時期もどんどんずれていきます。特に今年は酷暑だったことで、土作りや草刈などの作業も一苦労。ケールの栽培にも気をつかいます。苗を植えたばかりでは、まだ細くて目立たず、存在感が無い状態なのですが、二週間もすると、葉っぱの大きさも大人の手のひら半分くらいに成長し、遠くか

ら見ても緑色が広がって、大きくなつていくのがわかります。

ケールはこれから秋を迎えると成長し春までに収穫されていきます。十二月上旬から早い園場では収穫が始まっています。冬は寒いと言われていますので、雪が積もるかもしれません。四国は温かいと言われていますが、石槌山の麓に近い西条市や、本社のある東温市の園場にも年に数回は雪が降ります。気温差があるのも、おいしい野菜を作る秘訣です。

ケールの植え替えが終わるとすぐに、にんにくの植付けが始まります。にんにくの芽は四月頃、にんにくの玉の収穫は六月中旬から始まります。

園場では一年を通じて、作物を作り土を育てていますが、年々気候も違うので生育にも影響が出ます。毎年同じには作れません。しかし、年を重ねることに工夫してその影響が出ないように準備を続けています。今年の夏の暑さは冬の寒さに跳ね返つてくるのでは？今から準備が必要です。

おいしい、栄養価の高い野菜作りで皆様の健康を応援します。



近くにはヒガンバナが咲き、通り道には栗も育っていました。園場に向かう道中にも、季節を感じます。

木下さんの

ゆつきの話 ～孫と働く～



「もう一度頑張ります。」父親と一緒に謝りにきてくれました。また信じて頑張ってみよう。私も再チャレンジです。

私にとって彼は孫の様な存在です。その後も叱つたり褒めたりしながら、ひとつひとつ仕事を覚えてもらっています。身体も大きく、力持ちで頼りにしています。

これから成長が楽しみ！頑張れ。

(園場責任者 木下)

EVENT

「ダイエット&ビューティフェア2010」

(2010年9月13日～15日)

「食品開発展2010」
(2010年9月13日～15日)
に出展いたしました。



展示会では青汁、石けん、黒にんにくなどを展示。新商品や開発中の紹介しています。

「食品開発展2010」は、一年を通じての展示会でも最大規模です。ビッグサイト一杯に多くの企業さんが出演されています。

青汁だけでなく、黒にんにくも出展されています。いかに特徴を出すかがアピールのしじこです。酵素入りの青汁や、さらに黒にんにくをプラスしたスーパーゴールドは大いに関心を持っていただけました。

今後も、遠赤青汁ならではの特徴をさらにアピールして、多くの方に商品をお届けしたいと思います。

「ダイエット&ビューティフェア2010」は、その名の通り美容やダイエットに対しての商品が集まる展示会です。出展する側だけでなく、ご来場のお客様も美意識の高い方が多いのも特徴、ブースを訪れる方も女性が多いです。遠赤青汁では石けんを中心に紹介させていただきまして、追求しましょとご紹介。

焼塩夢石けんは、泡をたくさん作つてアピール。ブースに立ちよつていただき、青汁も飲んでいただきまます。青汁で身体の中からきれいに、さらに石けんで外側からもきれいを追求しましょとご紹介。



遠赤青汁ブースは、大賑わいです！

NEWアイテム登場！これで最強？

展示会に出展する際に、いつも困つてたのがポスター作り。毎回テーマ毎、展示会毎にデザインを考えて作つているのですが、早めに印刷会社に出さないと開催日までに出来あがらません。

「ここだけ修正できたらいいのに」

「自分のイメージでパネルを作りたい」

健康食品は薬事法や健康増進法など表示基準も年々変わつてきます。担当者はその変化に合わせて毎回表現方法も試行錯誤しています。

現場の声を受けて、今回ついにポスターが印刷出来る大型機を購入。これでA1～A3までの印刷が可能です。

展示会は目立つ事が大事。今後はもつとオリジナル性の高い情報発信が出来るようになります。皆様に遠赤青汁の良さをアピール出来る強い味方。活用していきたいです。



ブースには、素材や成分の説明、学会発表データなど専門的な内容のものまで、いろいろな大きさの展示物がたくさん掲示されています。多くの方に興味を持っていただきたいですね。



四国八十八箇所・四十八番札所

西林寺 (さいりんじ)

愛媛県松山市高井町1007

「ていれぎの里」

遠赤青汁から最も近いところにある札所が松山市高井にある西林寺です。近くにある奥の院は「杖の淵」(じょうのふち)という名で、かつて弘法大師が干ばつに苦しむ村人のために、杖で地面をついて水を湧かせたという伝説が残されています。水草の一種・ていれぎが自生することから「ていれぎの里」とも呼ばれ、天気のいい休日は家族連れでにぎわいを見せます。

「秋風や 高井のていれぎ 三津の鯛」
(正岡子規・西林寺門前の句碑より)。
祈りの場は憩いの場であり、遊びの場でもあります。



海外からも見学に やつてきましたよ



有機認定看板と共に、ケール圃場で記念撮影

十月七日、シンガポールからのお客様が圃場を見学に来られました。

今回お見えになったお客様は、シンガポールでの販売の際に、高岡をサポートしていただいた方達。現在は、現地代理店として、遠赤青汁製品を販売していただいています。

「日本に行って、ケールの農場を見たい」販売の際にご要望いただいたのですが、なかなか叶わず。今回ようやく来日のチャンスが訪れ、愛媛県西条市の圃場まで来ていただきました。

シンガポールは都会。農場に行く機会はほとんど無いそうです。有機栽培



トラクターに乗ってポーズ！

の説明や、耕作放棄地の活用について、実際の現場で高岡が熱心にお話しました。

「ちょっとトラクターに乗ってみますか？」

珍しそうにトラクターを覗きこんでいたので、乗っていただくことに。ステップが高いので足元もおぼつかません。いざ乗りこんでみると、その視点の高さに「見晴らしこいね」と上機嫌に。にんにくの圃場も見ていただき、安心・安全に対する取り組みに安心された様です。今後も、自信を持って販売が出来るとおっしゃっていました。



**教えて！
お客様の声から「黒にんにく」と「黒にんにく完成！」**

新商品として発売以来、多くのお客様から質問をいただく黒にんにく。その色にもピックリますが、それ以上に驚かれるのが甘味！ブルーみたいな食感と、これがにんにく？と思うくらい食べやすい味。その秘密を探りに製造している工場へ行ってきました。



にんにくが黒く熟成するには、約二週間かかります。加工方法自体は企業秘密になってしまうのですが、元々が黒いにんにくでは無いことがハッキリと分かりました。

黒にんにくになると、甘く食べやすくなり、普段「にんにくは臭いがちよつと駄目」と諦めていた方にも安心してお召し上がりいただけます。ついでに食べ過ぎてしまうと言うお声も一おいしすむても食べ過ぎないでくださいね。

**お便り
大募集!!**

お客様からのご質問やご意見をお待ちしています。

青汁商品に関するご意見、ご感想、ご要望。また日々の出来事や感動した事など。

おたより広場 にメッセージをお寄せください!!

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1遠赤青汁株式会社

有機健康つうしんおたより広場 係あて

mail;aojiru@enseki.com

イラストや写真も
大歓迎です!

採用させていただいた
方には粗品を進呈させて
いただきます。

*お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。